

問

不法投棄の防止対策はどのように

町長

啓発看板の設置や広報による周知

問 浪費の社会を変えて、地球にやさしく暮らすにはどうすべきなのか、これまでの町の取り組みを振り返りながら、現状と課題を伺いたい。今年予定されている

町長 廃棄物減量化等推進審議会の目的と開催状況は。

町長 廃棄物減量化等推進審議会は、ゴミの減量化に向けて分別方法や排出方法、処理方法



にしやま ゆみこ
西山由美子 議員

やってみよう
まあいい地球を
みんなできれいに

などゴミにかかるさまざまな事項を審議するもの。平成16年からゴミの有料化が始まり、当初とは分別方法や処理方法などが変更となった。

問 北見市留辺蘂の埋め立て処分場の見込みは

町長 2046年まで大丈夫と聞いている。

不法投棄の防止対策

問 本町の不法投棄の現状と防止対策は。

町長 不法投棄は毎年数件発生している。タイヤ、テレビなど事業者に持ち込まないと処理できない物が多い。また分別されず指定袋以外の袋に入れてステーションに投棄する事例もある。防止対策は、啓発看板の設置や広報などによる周知を行っている。

問 不法投棄のゴミの処理はどのようにするか。

町長 まずは警察に通報して一定期間を過ぎるとその土地の所有者が処理しなければならぬということになっている。

3Rの取り組みは

問 本町のリサイクル率とリデュース・リユース・リサイクルの取り組み状況は。

町長 本町のリサイクル率は32・5%で、全国平均20%や全道平均23・4%と比較し高くなっている。これらは生ごみの堆肥化や廃プラスチック、缶、びん、繊維資源、紙類、小型家電などの回収、自治会のリサイクル活動への助成などによる。リデュース・リユースの取り組み状況は広報などで周知している。

問 ゴミ出しが困難な世帯への支援状況は。

町長 介護認定や障がい認定を受けた方を対象

に訪問介護ヘルパーによるサービスの提供があり現在6件の利用がある。軽度の生活支援が必要な高齢者への有償ボランティアの生活支援サポーターによるサービスが1件利用がある。

問 町民に今後どのようなことを推奨していくのか。

町長 いかにかゴミの発生を抑制することができるとかが重要であり、3Rの取り組みや、食品ロス削減に向け意識の啓発に努めるなど、環境対策に取り組んでいきたい。

このほかに「新しい情報発信の取り組みと町民への周知は」の質問をしました。

リデュース(ゴミを少なくする) リユース(ゴミにしないで活用する) リサイクル(再生利用する)



西山議員の一般質問を視聴できます